ご寄付ありがとうございました(7月～9月迄)

四中地区社協の活動をご支援くださりありがとうございます。
地域福祉活動に活用させていただきます。
　　四街道ふじわら小児科医院（子ども食堂へ）　１５,０００円
＊寄付は所得税控除の対象になります。詳しくは四中地区社協事務局まで
　問い合わせください。電話 070-1537-5827



広報紙作成スタッフ大募集！

当広報紙「ほのぼの」の作成スタッフを募集しています。
活動内容　　年４回の広報紙の発行に合わせ、毎号３回程度の企画・編集会議
　　任意でイベントの取材
活動場所　　主に南部総合福祉センター「わろうべの里」
お問い合わせ
　四中地区社協［月・水・金　午後］（高橋）０７０－１５３７－５８２７
　四街道市社協　　（二村）０４３－４２２－２９４５
　メール　4chiku@yotsukaido-shakyo.or.jp



四中地区社協の事業予定（10月～12月）

事　業　名	開　催　日	場　所
ふれあい交流会	１０月　４日（日）	わろうべの里
社協まつり ふくしマルシェ	１０月１８日（日）	総合福祉センター周辺
子どもの八百屋さん	１１月２１日（土）	わろうべの里
グラウンドゴルフ親睦会	１１月２９日（日）	和良比小学校
キッズコンサート	１２月２０日（日）	わろうべの里
子どもの集い	１２月２５日（金）	わろうべの里

定例事業		
	ほのぼのサロン（毎月第２・４水曜日）	ほのぼの学習広場（毎月第２・４土曜日）
	ふれ愛サロン（毎月第２・４金曜日）	ほのぼのテーブル（毎月第２・４土曜日）
	いちごサロン（毎月第４木曜日）	駄菓子屋“えがお”（毎月第１・３日曜日）
	１２月の「ほのぼの学習広場」「ほのぼのテーブル」は第２・３土曜日開催になります。	

広報部員のつぶやき　８月の千葉豪雨災害では、急激に大量の雨が降った事で冠水し、四街道市も多数の床上・床下浸水被害が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。改めて地域や家族で防災対策について話し合い、災害に備えたいですね。四中地区社協では、地域のみなさんが笑顔になる楽しい行事を開催しています。facebook にも投稿していますので、ご覧いただけるとうれしいです。（記／岩舘）

四中地区社協だより
ほのぼの
第７４号
２０２６年１０月１日発行
四街道中学校地区
社会福祉協議会
TEL 070－1537－5827

夏休みほのぼの学習広場開催

７月 29～31 日の３日間、午前９時半～11 時にわろうべの里にて、「ほのぼの学習広場」を開催しました。
３日間の参加者数（のべ人数）は、小学生 184 名、先生役の中高生 51 名、わろうびんぐホールと２階の食のスタジオ、創作のスタジオの３か所で学年別に分かれて勉強に励みました。
子どもたちは自主的に宿題のドリル冊子やお母さんが作ってくれたプリントを使って、算数や国語などの問題に取り組んでいました。
先生役の中高生のお兄さんお姉さんは勉強する小学生たちを見守り、わからない箇所は丁寧に教えてあげていました。高学年になると、おしゃべりに夢中になる場面も見られました。
今年は、わろうびんぐホールのエアコンが故障しており、猛暑の中、代替の大きなスポットクーラーと扇風機を総動員。普段しないいろんな経験をした夏の子どもたち、健康に気を付けて、いい思い出をつくって欲しいです。
スタッフの皆様も大変お疲れ様でした。
（記／志津）


スポットクーラー


食のスタジオ会場


わろうびんぐホール会場



「わらびふるさと祭り」に参加しました

７月 25 日（土）和良比小学校校庭において、近隣自治会が主催する「わらびふるさと祭り」が開催されました。
当地区社協は、12 の模擬店の一つとしてポップコーンで販売に参加し、多くの子どもたちにお買い上げいただきました。
プログラムでは、子ども神輿担ぎ、盆踊り、和太鼓演奏などで大いに盛り上がり、最後は打ち上げ花火で、盛況のうちに幕を閉じました。
開会と同時に 3,000 人を超える参加者でしたが、事故等もなく無事開催できたことは喜ばしいことです。
参加した子どもたちも、このお祭りを通して、郷土への愛着を深め、将来の四街道を担う存在へと成長してくれることを願っています。
（記/調）


開店前の模擬店


模擬店前にて


多くの来場者


和太鼓演奏

駄菓子屋“えがお”で工作教室

７月19日（日）駄菓子屋“えがお”の工作教室を開催しました。ビーズのブレスレット、プラタナスの実で飾り付けしたペンダント、ぬりえ、紙皿に絵を描いて皿回しなど・・・。

それぞれ工夫して作り上げたものは世界に一つだけ。親子で楽しく工作して、“よつスタ”のスタンプカードにスタンプを押してもらっていました。

※：“よつスタ”とは、千葉大学・岩渕薬品・四街道市の３者協定により実施する“四つ葉プロジェクト”のうち「よつかいどうこどもスタンプラリープロジェクト」のことです。この夏、市内の子どもたちが参加した65のイベントでスタンプを集め、貯まったスタンプで市内12のイベント会場などで買い物ができます。（記／調）


みんなで作る工作は楽しいな


お皿に絵をかいて皿回し


いらっしゃい！“えがお”です！

おいしかった♥ピザとパフェ

暑さが少し和らいだ８月３日（月）、わろうべの里で「子どもクッキング」を開催しました。

メニューはピザとフルーツパフェです。生地から手作りしたピザに、思い思いの具材をトッピングしてオーブンへ。焼き上がるのを待つ間に、コーンフレークやフルーツ、アイスクリームなどを重ねた特製パフェを仕上げました。

完成後は全員で「いただきます！」

パフェを満足そうに味わった後、「ピザの半分はお父さんへのお土産」と大切に持ち帰る微笑ましい姿も見られました。

参加者には「よつかいどうこどもスタンプラリー」のスタンプを押印。「次はカレーを作りたい！」「また参加したい」といった元気いっぱいな声がたくさん寄せられ、笑顔あふれる一日となりました。

（記／木村）


これからピザを作ります


お好みのピザ、ピーマン少なめ？


みんなで「いただきまーす」

こんにちは！ 民生委員・児童委員です㉜

【民生委員と包括支援センターの連携】

地域包括支援センターは、市区町村が設置または委託している高齢者の総合相談窓口で、介護や生活の困りごと全般の相談を受け付け必要なサービスや制度へつないでくれます。

民生委員は、市や地区社協と同じく包括支援センターとも密接に連携し、福祉活動を行っています。

地域の見守り役である民生委員にとって、専門的な相談機関である包括支援センターは大変心強い存在です。

連携の具体的な一例をご紹介します。

・見守っていた高齢者の方が突然転倒し寝たきりに。
・同居のご家族に包括支援センターを紹介。連絡先を伝える。センターにも連絡。
・ご家族がセンターに連絡し、必要なサービス等について案内と助言を受ける。

一般の方の場合、突然、介護などの困りごとが発生したとき、センターのような適切な窓口の存在を知らず、途方にくれる方も少なくありません。そのような時に迅速に連絡先などの情報をお伝えすることも民生委員の役割のひとつです。

また、センタースタッフの方々は豊富な経験により、面談を通して介護や健康面のアドバイスをくださることも。

地域包括支援センターは四街道市内には３カ所あり、中学校地区ごとに担当が分かれています。

四街道中学校地区担当は「みなみ地域包括支援センター」で、四中地区と旭中地区を担当しています。
場所はわろうべの里２階　月曜～土曜　9:00～17:15（第４月曜、祝日、年末年始を除く）に開所しています。
（電話　043-497-5165）　（記／志津）



四中地区社協
facebook

